

学校教育目標

- ☆学ぶ力のある子 【知育】
- ☆心の豊かな子 【徳育】
- ☆たくましく生きる子 【体育】

あけとの子

活気に満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

令和3年夏休み月号

発行 令和3年7月20日

夏休みは自分の力で自分を伸ばす大切な時間

深谷市立明戸小学校長 強瀬 雪乃

7月21日から長い夏休みに入ります。

期間が長く、毎日通う学校の勉強がない夏休みは、子供たちが自分の力で自分を伸ばす大切な時間です。学校で勉強したつもりでいたけれど聞き流していなかったらどうか、勉強したことは本当に身に付けているのだろうかを確かめる時間です。

また、普段はおざなり、あるいはなおざりにしている家庭の中の仕事や役割を再確認し、できるようにするのもよい時間です。いつもはつい目先のことばかりにとらわれがちですが、子供たちの将来のことを考え、身に付けさせたいことを確かめ、できるようにするための時間になると考えます。



子供たちの成長で考えたとき誰もが、本来伸びようとする欲求をもっています。新しい知識を得ようとしたり、より高い技能を身につけようとしたりするなど、現在の状態よりも高めようとする欲求です。しかし、やる気（意欲）が無ければ、どのような環境を設定しても効果は半減してしまうということです。やる気（意欲）は、心の内部の緊張状態で起こると言われています。その緊張状態をつくる一つとして、賞罰を与えるという方法が考えられますが、必ずしもやる気（意欲）に結びつくとは限りません。賞罰に関係なくやる気（意欲）を持続できるのは、**自分のよさが認められ、自分が自信をもつ、成長しようとする欲求**が満たされる場合です。つまり子供に大切なのは、「自信」と「自分を大切にできる力」です。それは、植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて、心に豊かな水や栄養を与える。そして、その水や栄養となるのが、子供のよいところを見だしほめることです。ほめられることで子供自身、自分の力で自分を伸ばしていくことができるようになりますと考えます。

この長い夏休みを十分に活用して過ごして欲しいと願っています。

感染症予防をしっかりと・・・。

1学期頑張ったこと

6年1組 飯嶋謙信

ぼくが1学期頑張ったことは、総合の「未来ノート」の学習です。未来ノートとは、新聞記事を読み、その記事から思ったことなどを書き、自分の取り組むことにつなげるというものです。

ぼくは野球をやっているんで、素振りや走り込み、基礎練習をやっています。未来ノートを始めたおかげで、「こんなことをやればいいかな」から「これをやる」という自分の中での目標が生まれて、毎週続けることができました。

また、新聞記事を読むことでプロの選手は、自分から練習に励んでいたことが分かりました。そこで、自分も父や母に「練習しないの?」と言われる前に自分から練習することができました。

これから夏休みに入ります。夏休みは長期休みなので、練習は明日やればいいやと思ってしまいかもしれません。その時は、自分の中で未来ノートのように目標を作って取り組んでいきたいです。

1学期がんばったこと

3年1組 倉上 彩

わたしは、がんばったことが2つあります。

1つ目は、ホウセンカのかんさつです。ホウセンカのたねは、すごく小さいです。ものさしではかると2mmほどでした。植えてから10日がたちました。

iPadできろくをとってかんさつをしました。大きくなったホウセンカを植木ばちから花だんへ植えかえたり、ホウセンカの周りに生えている草とりをしたり、今では20cm以上の高さできれいな花を咲かせています。

2つ目はじゅ業さんかんです。じゅ業さんかんに向けて、オクリンクを使いました。グループごとに野菜を調べました。図書室にある本をみんなと協力し合って調べたり、iPadで発表のじゅんぴをしました。発表の練習も何度もしました。授業さんかんの本番では大きな声を出してがんばり楽しくできました。

これからもいろいろなことにちょうせんしたいです。

